



Sekisyo 通信



R6・6・20

NO, 9

文責：校長酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

夢や希望に向けて…（本当の学力＝授業力）

先週の金曜日（6／14）に、町主催の小中連携学力向上研修会が本校を会場に実施されました。

毎年行っている、授業研究会ですが、今回は野木沢小、石川中の先生方のほぼ全員や大学生も参加し来場者は50人を超え、ちょっとした研究公開となりました。指導助言者として大学教授、教育センターや石川町、須賀川市の指導主事を招いての分科会ごとの事後研究会では、活発な意見が飛び交いました。

授業を公開したのは国語科：5年2組 算数科：2年3組 総合的な学習の時間：6年1組 特別支援教育：きりり1組 外国語：4年1組の5クラス。授業者だけでなく同部会や同学年で、運動会明けよりじっくりと構想を練り、準備万端整えての授業でしたので、成果は大きかったのですが、指導助言者からは辛口のコメントもあり、更に闘争心!?!いや探究心に火がついた先生方です。

本校では、教師一人一人の授業力（指導力）の向上こそが、子ども達の「本当の学力」を向上させる近道と考えています。その実現のためには何より、毎回の授業と真摯に向かい合うことが重要です。しかし、ご存知のように現状は、時間をかけて教材を研究し授業に臨むことはなかなかできていません。絶対的な時間が足りないからです。（そのためにも、多忙化の解消は必要となりますが、今回はこの話はひとまず置いておきます。）しかし、そんな中でも年に一度は研究授業を行い、多くの先生方や研究者などからご指摘を頂き授業の腕をあげる時間だけは、ずっと確保してきました。本校が地区の基幹校たる由縁です。

この日の授業も、タブレットを駆使する授業、グループによる交流に重きを置く授業、実物を使って進める授業、ゲームをおり交ぜる授業など、ねらいに迫るための方法はまちまちでしたが、十分に準備した甲斐もあって、課題も再確認することが出来ました。めあての提示の仕方、授業の時間配分、意見交換の持たせ方、ノートの役割の明確化、構造的な板書の重要性などがそうですが、これらの課題は必ず次につながり、教師一人一人の授業力を高めます。子ども達もいつも通りの態度で取り組みました。

授業の主役は子ども、子どもが伸び伸びといつも通りに取り組めたなら、授業は、ほぼ成功です。

いっぱい考えたら、頭痛くなっちゃった。

授業後、感想を聞くと元気に応えてくれたのは2年生、いっぱい頭を痛めて準備した教師の思いが乗り移ったのかもしれませんが。こんな言葉が聞きたくて、教師は毎日遅くまで…。

今年も石小は本当の学力を追い求めていきます。



タブレットと駆使して



だからさ～こうやると…



国語科事後研究会より

裏面もご覧ください。↓

☆☆あびるほどの大自然！ 5年生宿泊学習（那須甲子青少年自然の家）☆☆

次はフォークダンスです、みなさん準備してください。

係りの児童が呼びかけると、炎を囲み男女交互に位置についた78名と先生方、スピーカーから流れてきたのは、おなじみの「オクラホマミキサー」。

ぎこちなく手を握り合いながら慣れないダンスも楽しそう。「みぎ、みぎ。ひだり、ひだり。前、後ろ、前後ろ。クルッと回って…」という声が音楽に合わせて、そこかしこから聞こえてきます。事前に練習を重ねてきたのでしょう。

コロナ禍の影響から、どの学校も宿泊学習のプログラムには気を遣ってきました。石小もこれまでは接触を出来るだけ避け、様々な活動を制限する状況にありましたが、今年は思い切った内容を組み込むことが出来ました。メインは、茶臼岳登山、キャンプファイア、野外炊飯。天候にも恵まれ、あびるほどの大自然を楽しんだ子ども達です。

久々の茶臼岳登山は、学年の先生方のたつての希望!?で組み込まれたものですが、一步間違えると命に関わる活動ですので、事前登山（下見）は欠かせません。キャンプファイアは当然屋外ですから、指示が通りづらいので準備や段取り、係りも含めて事前の指導が重要です。薪を使って羽釜で炊き上げる野外炊飯は、メニューこそ定番のカレーですが、初めてのことが多すぎてレクチャー通りとは…、それでも、とにかく前向きな5年生、多くの失敗を繰り返しながらも笑いの絶えない一泊二日となりました。

私事ですが、担当が長かったので茶臼岳登山は、下見を含めると10回以上になります。今回、ひょっとして学年の先生方から下見の同伴に声がかかるかな?と期待と不安で覚悟はしていましたが、遂にありませんでした。校長を下見にはなかなか誘えませんね。（一抹の寂しさ）

しかし、健康観察、トイレの確認、登山開始時の注意、休憩場所での指示、途中での記念写真、引率の先生方の配置と連携からは、下見を通して学年の先生方が綿密に打ち合わせをしたことが容易に伝わってきました。

楽しかった。でも、下りが大変だった。

最初はつらかったけど、途中からだんだん楽しくなってきた。また来た〜い！

自然の家に到着直後の子ども達の感想です。

ところで、前出のキャンプファイアは、ベテランのK先生が担当してくださいました。豊富なキャリア、幾度となく指導してきたK先生ですので、事前の指導はきめ細かく当日の指示も完璧。フォークダンスもオクラホマミキサーの後はマイムマイム、そしてジェンカと定番です。ですから、昭和のキャンプファイアを存分に楽しんだ令和の子ども達です。（もちろん、私も思いっきり楽しみました。）

キャンプファイアの帰り道、漆黒に浮かぶ北斗七星に歓声をあげながら、所に着いた子ども達。早朝の登山もあり、その日はぐっすりでした。（6/11）



マイマイマイマイ…



ついた〜頂上だ！



これでいいんだよね!?

す。

※活動の様子はHPで紹介していま